学校だより　文武

【　川場中魂　】
文武両道で挑戦し自分のよさを発見
利他共生の精神で支え合って生きる

『百聞は、一見にしかず』

少し前の学校集会で話しました。有名な言葉です。正確には、【漢書】という中国の歴史書にある言葉です。意味は皆さんがよく知っているとおり、『人から何度も話を聞くよりも、一度自分の目で確かめたほうがよくわかる』です。実はこの言葉には続きがあります。それは、**『百見は、一考にしかず』**です。意味は、『何度も自分の目で確かめたとしても、一度考えることには及ばない』です。さらに続きがあります。それは、**『百考は、一行にしかず』**です。意味は、『何度も考えたとしても、一度の行動に及ばない』です。つなげて考えると、『聞くことより見ること、見ることより考えること、考えることよりも実行することが大切である』でしょうか。しかし私は、これらをばらばらで読むのでなく、一つながりの言葉として捉える方がいいと思います。

『思い描いた成果を出すには、よく聞いて、事実を見て、自分の頭で考えて、試してみなければよい成果は得られない』自己決定がいかに大切かを教えてくれる言葉です。人の意見を聞き、実際に自分でも見て、どうすべきか、自分はどうしたいのかをよく考え、試してもいいから実行してみる。その結果成功すれば、このときこそ自己有用感や自己肯定感は高まるでしょう。逆に失敗したとしても、自分で考えてやったことは、責任は自分にあるのだから変な悔しさは生じません。人任せの人生は楽に見えて、実際にはうれしさも半減するし、失敗は人のせいだから成長もありません。

本校が県より指定を受けている非認知能力とは、まさに自分で考え決定、実行する力です。『自律心』とも言えます。日本人が世界の人々と比べて劣っている力と言われています。

しかし、心配しないでください。本校生徒はこの『自律心』が少しずつではありますが育ってきています。

これからも、人の意見を参考にしながらも、しっかりと自分の頭で考えて判断する人生にしましょう。

村子ども議会に参加

11月17日(金)に、本校3年生が「村子ども議会」に参加することができました。総合的な学習の「村への提言」の一環として、村長さんや村議会の全面的なご協力の下、本物の議場（新しい議場の使い初めということでした）で質問したり、意見を提案しました。

当日は、3年生徒が見守る中、代表生徒が質問・提言を行いました。

提言の内容は、統合後の川場中校舎・校庭の利用計画、ふるさと納税でのポイント制度、森林の整備、村の新たな産業、観光問題、エネルギーの地産地消等多岐にわたりました。村の将来を思う真っ直ぐな考えに対して、村長さんも真摯に答えていただきました。川場中学校の学びの集大成です。

◆県駅伝大会出場！

11月11日（土）渋川総合運動公園周辺コースにて、県中体連駅伝大会が行われました。県駅伝は急坂の難コースですが、昨年の女子に続き本年度は男子チームが果敢に挑み、襷をつなぎました。

メンバー
小嶌　楓、戸丸雅也、入澤空也、生方凰靖、松井優都、青柳柊理、清水景悦

夏からの苦しい練習に耐え、精一杯頑張りました。

◆全国教育美術展入選作品紹介

２年　松井咲空

２年　外山彩愛

３年　外山心愛

１年　生方珠衣

「腐らず、あきらめず、力を尽くすことで、乗り越えられる壁がある。」